

練馬区議会議長
村上 悦栄 殿

2002年9月
練馬保育園父母連合会

要旨

保育園の待機児の解消を本格的にすすめるために、保護者が安心して子どもを預けられる保育所として、公立保育園を増設してください。

理由

「少子化」といわれる社会状況のもとで、子育てを社会的に支援することがいわれています。また、長引く不況やさまざまな理由から仕事をもつ母親が増えています。そうした社会的状況があるにもかかわらず、保育園に入りたくても入れない待機児は、練馬区でも相変わらず多く発生しています。近年、練馬区では待機児解消を目的に、家庭福祉員の増員やグループ保育室の新設、私立保育園の開設などがすすめられてきました。しかし練馬区では、長い間、公立保育園が増設されていません。保護者の多くは、公立保育園への入園を一番希望しています。私立保育園に比べ公立保育園の方が、待機児が多く、なかなか入園できないことは広く知られています。それは、公立保育園こそ保護者が安心して子どもを預けられるからです。「毎日新聞」2002年8月29日付によると、無認可保育所になるほど事故も多く発生していることが報道されており、保護者が公立保育園への入園を希望する根拠が示されています。練馬区の保育園は、都内の中でも先進的な保育実績を積んできています。それは公立保育園が私立保育園等をリードし、全体として練馬の保育の質を高める役割を発揮し、区民の信頼を得てきたからです。区民の保育行政への信頼は、公立保育園によるものといっても過言ではありません。近年、区内に私立保育所が新設されています。私立であっても新しい保育園ができることじたいは歓迎されることですが、しかし保育園の増設を望む保護者の声は、安全で、保育環境も整い、多様な保育士や専門職がそろった公立保育園の増設を何よりも望んでいます。区民と子どもを抱える保護者の願いにこたえるためにも、公立保育園をすみやかに増設するようにしてください。

以 上